



2014/12/22

No. 43

スペシャルオリンピックス(SO)とは、知的発達障害のある人たちに、日々のトレーニングと競技会を通じて、自立と社会参加をサポートする国際的なスポーツ組織です。SOでは、これらのスポーツ活動に参加する知的発達障害のある人たちをアスリートと呼び、多くのボランティアやアスリートのファミリーと一緒に活動を支えています。SOの活動は、すべて非営利活動で、運営はボランティアの方々の積極的な意思と、善意の寄付によって進められています。現在、世界170カ国以上で、約400万人のアスリートと100万人以上のボランティアが日常的なスポーツ・トレーニングに楽しく参加しています(2013年4月時点)。競技会は地区レベルから世界レベルまであり、世界大会は夏季・冬季共に4年毎に開かれています。国内でも全ての都道府県に普及しており、富山では現在、約120名のアスリートが11種のスポーツプログラムと1つの文化プログラムに取り組んでいます(2013年4月時点)。



## 今季のエッセイ

### スペシャルオリンピックスとの出会い

スペシャルオリンピックス(以下SO)との出会いは2008年になります。当時、私は大学院生で新潟市に住んでおり、福祉工学、医療工学、人間工学などを勉強しておりました。研究室の同期が新潟大学附属特別支援学校と共同研究を行っており、当時お勤めされていた久保田健先生(SON・新潟事務局長)からSOのボランティアに誘われ、研究室の同期からその話を聞き、興味を持ち、参加したことがきっかけでした。2010年4月から社会人となって富山県に住むようになり、1年に1度SON・新潟フロアホッケーチーム新潟トッキーズから声を掛けて頂き、全国フロアホッケー競技大会に参加させて頂きました。その都度、アスリート、ファミリーから元気と勇気を頂きました。社会人になり社会の厳しさを嫌というほど知り、自信を完全に失いました。そんなとき、「自分自身何か変えたい!」と思い、SON・富山の事務局に連絡いたしました。今でもその時のメールは残っております。「参加のかたちは様々ありますので、『できるときにできることを』の気軽なお気持ちで」その当時、いろんな意味でその言葉に救われました。2013年8月からSON・富山の活動を本格的にはじめ、2014年上半期ではヤングアスリートプログラム、下半期ではバスケットボール(滑川会場・富山会場)、陸上競技プログラム(高岡会場)でボランティアとして参加させて頂いております。さらにナショナルゲーム福岡大会副団長としてSON・富

### スポーツプログラム副委員長 橋俊徳

山選手団の活動に参加させて頂きました。いつもアスリートの純粋な気持ちに癒され、プログラムに対するひたむきな姿から元気と勇気を頂いております。私にとって現在、SOの活動はなくてはならないものとなり、元気の源となっております。アスリートやファミリー、ボランティアさんから学ぶことは多く、少しずつ私自身もアスリートとともに、人としてまた一社会人として成長しているように感じております。特に気持ちの面で変わったと思います。私の愛読本「置かれた場所で咲きなさい(著書:渡辺和子)」に「現実が変わらないなら、悩みに対する心の持ちようを変えてみる。(悩み疲れる前に、別の視点から考えてみよう)」という言葉がありますが、以前に比べて前向きになり、アスリート、ファミリーに恥ずかしくない仕事をしようと思うようになりました。そして何よりも感謝の気持ちを忘れないよう心掛けるようになりました。大変感謝しております。残念ながらSOのことを知らない方が多いかと思われます。私が参加することによって、より多くの方々にSOのことを知って頂き、地域・社会、学校、企業などがSOの活動を理解して頂き、参加して頂けたらいいなと思っております。私自身まだまだ知らないことが多く、至らない点が多々あると思いますが、今後とも宜しくお願い致します。

## ■あおぞらグリーン会ゴルフコンペで募金とSOのPR活動をしました

藤井会長主催のあおぞらグリーン会コンペは、平成23年からゴルフを楽しみながら支援者の方々と親交を深めることを目的として行われています。昨年の第3回より、チャリティーコンペも兼ねて行われました。

今年は10月19日のトーチラン、11月のナショナルゲーム福岡大会のPRをアスリート自身が伝え、参加者の皆さんは顔きながら、快く募金をして下さいました。



## ■県庁あいさつ

10月24日(金)、11月1日～3日に福岡県で行われる「2014年第6回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・福岡」に出場する富山選手団の代表が、富山県庁に山崎康至厚生部長を表敬訪問しました。訪問したのは、戸田武宏富山選手団団長と、中山真美さん(卓球競技出場)、八木信成さん(ボウリング競技出場)、前川駿輔さん(バスケットボール

競技出場)ら3人のアスリートで、SON・富山の藤井会長、五十嵐顧問、吉田事務局長、ファミリーと共に、厚生部長らに大会に対する意気込みを伝えました。山崎厚生部長が迎えてくださり、車谷厚生部次長、石浦課長が同席されました。山崎厚生部長より、激励の言葉をいただきました。その後、中山さんが挨拶し、八木さん、前川さんが決意表明をしました。



和やかに歓談する場面もありました



山崎部長と一緒に記念撮影する選手団代表

## ■2014年第6回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・福岡大会トーチラン

### ●トーチランを開催しました！

10月19日(日)、秋晴れ富山市の県庁前公園をスタートするトーチランを開催しました。トーチランナーとしてのSON・富山のアスリート50人とそのファミリーのほか、ボランティア約150人、総勢200人が元気よく走りきりました。

#### トーチラン開催の目的は

- ・「2014年福岡全国大会」出場記念
- ・「2014年福岡全国大会」成功の祈願とPR
- ・「スペシャルオリンピックス」の理解促進
- ・障害のある人との交流による心のバリアフリー化
- ・実施を通じた地域の活性化



シンガーソングライター高原さんが参加してくださいました

◆ナショナルゲーム・福岡トーチランとは

ナショナルゲーム・福岡に出場する富山選手団を応援するために、障害のある人（アスリート）がトーチランナーとなり、1チーム20～30人の伴走者が一緒に走ります。今回は約6キロのコースを13区間に分け、トーチを繋ぎました。ゲストランナーは高原兄さん。後半に三遊亭良楽さんも登場してくださいました。

◆トーチランのコース

コースは以下の13区間。富山の街中トーチランです。

- ①県庁前→②北日本新聞社前→③CIC前広場→④住友生命ビル→
- ⑤マンテンホテル前→⑥荒町交差点→⑦中央通り西口→⑧中央通り東口→
- ⑨総曲輪通り東口→⑩富山市民プラザ前→⑪丸の内東（アメイジング トヤマ）→
- ⑫城址公園前（セブンイレブン前）→⑬グランドプラザ→ゴール（日枝神社）

伴走者として協力していただいた皆様（順不同）

富山市役所、株式会社ロキテクノ、富山市消防団、富山工業高校、株式会社匠技創、有限会社小畑印房、北酸株式会社、第一学院高等学校、明るい社会づくり運動とやま、大谷製鉄株式会社、富山県庁、しらとり支援学校、富山高志ライオンズクラブに所属の皆さん、及び一般の個人参加の方々



アスリート宣誓



トーチ灯火



県庁前公園をスタート



2区のみなさん



4区のみなさん



6区のみなさん



7区のみなさん



8区のみなさん



アメイジング トヤマ前

●日枝神社で成功祈願

トーチランのゴールは日枝神社。予定通り、11時頃にトーチラン一行はゴールの日枝神社に到着しました。日枝神社では、成功祈願のためのご祈禱をしていただきました。選手団は、祓詞をききながら、参拝の作法に従い、玉串拝礼を行いました。作法は神職がわかりやすく教えてくださいました。応援団も二礼二拍一礼は選手団と一緒にしました。最後にスポーツ飲料のお神酒を全員頂きました。



山崎実行委員長のあいさつ

# 2014年第6回スペシャルオリンピックス日本

スローガン：はじける はすむ わたしも わたしも…ふくおかから



# 夏季ナショナルゲーム・福岡

開催期間：2014年11月1日（土）～3日（月・祝日）

富山からは、水泳、陸上、バスケットボール、ボウリング、卓球、テニスの6競技に16名のアスリートと12名のコーチが参加しました。



スペシャルオリンピックス  
2014福岡

Special Olympics National Summer Games FUKUOKA 2014







### ■ 祝勝会

11月15日(土)、タワー111ビル3階カフェテリア・トゥリパーノにおいて、2014年第6回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・福岡大会に参加した富山選手団の祝勝会(大会報告会)が行われました。アスリートはメダルやリボンを誇らしげに掲

げ、大会の思い出を楽しそうに話してくれました。また、コーチのみなさんからは大会中のさまざまなエピソードを聞かせていただき、和やかな雰囲気の中にも楽しく・まじめに、これからの富山についての話題で盛り上がりました。



アスリートのみなさんから大会の感想を…



コーチのみなさんから大会の報告を…

■事務局から

スペシャルオリンピックスのスポーツプログラムやノンスポーツプログラムの活動は、多くのボランティアによって支えられています。富山では最近、富山大学等の学生さんの参加も増えてきました。県外でS0の活動に関わった後、富山での活動に参加されたボランティアもいらっしやいます。また、新聞に掲載された募集記事をご覧になって参加を申し込んでくださった方もいらっしやいます。事務局として本当に感謝しています。

2003年に富山県内で初めてS0の活動がスタートしたとき、スタッフに占めるボランティアの人数はファミリーとほぼ同数でした。その後、県内での競技種目数もアスリート数も増えてきましたが、ボランティアの割合は実はむしろ減少しているのです。富山で活動を開始して約10年。当時、若く、知的障害のある人たちにスポーツ活動を提供しようと

いう意欲に満ちたボランティアやファミリーは一緒に10歳年齢を重ねてきました。これからは、最近になって活動に関わってくれている若いボランティアこそが中心になって富山を引っ張っていく時代になっています。

いま富山で、スポーツプログラムに関わってくださっているボランティアの割合が多いのは高岡水泳や陸上競技です。ヤングアスリートプログラムやバスケット、フロアホッケーやアルペンスキーにもたくさんの方が参加いただいています。その他の競技種目ではファミリーコーチも含めてスタッフの数が確保できなくて困っています。この会報を読んでくださっている皆さん、ぜひ、お知り合いの方に声をかけていただき、一人でも多くのボランティアに参加していただけるよう説明や勧誘をお願いします。

<賛助金・寄付金をお寄せ下さった皆様(2014年10月1日~2014年11月30日)>

敬称略

小野澤 豊造			八木 恵子		
五十嵐 務			小栗 絢子		
上原 恵			田中 洋一郎		
素谷 孝子		素谷 宏	奈辺 晴美		福島 茂次
青木 誠之助	槻 栄一	橋場 元	前田 万里子	山岸 明子	渡辺 守人
市田 路子	杉浦 直巳	福田 孜	三上 裕之	山口 修	
大角 拓海	高見 豊	本間 一正	三松 隆之	山口 恵美	
荻生 明美	寺畑 雅英	本間 尚美	宮野 光正	山崎 政行	
下条 昌輝	長久 慎吾	前川 均	宮野 明美	山崎 麻住実	
(株)高橋			北陸コンピュータ・サービス(株)		

賛助金・寄付金振込先

スペシャルオリンピックス日本・富山  
(日本は、「ニッポン」としてください。)  
北陸銀行本店(店番101)、普通口座 5308370  
ゆうちょ銀行 00720-0=38833

賛助金

<個人> 一口 3,000円  
<企業・団体> 一口 10,000円

ありがとうございました。

※お問い合わせは、SON・富山事務局あてメールもしくはファックスをお願いします。

<正会員に登録頂いた皆様(2014年10月1日~2014年11月30日)>

敬称略

杉浦 直巳 寺畑 雅英 奈辺 晴美 本間 尚美 山崎 政行 山崎 麻住実

**FUJI XEROX**

未来の地球を支える子供たちへ...

**Kids'ISO 14000 プログラム**

Kids'ISO14000プログラムは、家庭の身近な省エネ活動を通じ、自ら進んで環境保全活動に取り組める子供たちを育成することが狙いです。

私たち富士ゼロックス北陸は、この趣旨に賛同し、近地域の小学校におけるプログラム実施をサポートしています。

**富士ゼロックス北陸株式会社**  
富山事業所/富山市新桜町5-3  
TEL: 076-431-2121  
本社/石川県金沢市中橋町11-18  
TEL: 076-260-0900

富士ゼロックス北陸株式会社は、スペシャルオリンピックス日本・富山の活動を応援しています。

**TURKISH AIRLINES** bj-league

2014-2015シーズン 開幕!

『優勝』をめざした闘い！  
応援よろしくお願ひいたします!

**G GROUSES** TOYAMA

富山グラウジーズはスペシャルオリンピックス日本・富山を応援しています

グラウジーズ最新情報

WEB <http://grouses.jp/>  
Facebook <http://www.facebook.com/toyama.grouses>